



## DINING KITCHEN

1. 床のナラや壁のドイツ漆喰のほか自然素材に囲まれた大空間。キッチン前のカウンターは天板に杉の一枚板を使っている  
2. ダイニング側の収納や背面収納を造り付けたキッチン。すぐ裏は洗面室になっている  
3. 「大喜さんの木の家に合うシステムキッチンを探し、ウッドワンの製品を選びました」と妻



家事動線もスムーズですね



長く住み継げる強い構造と無垢の木の心地よい香り

春は桜が彩る並木道に面し、目の前の水路をときおり観光船が行き交う。そんな風情あふれる景観と調和するよう和の意匠をあしらった木の家がたたく。以前は夫が生まれ育った実家が残されていたが、1さん一家の同居に伴って建て替えることになった。

「大喜工務店さんにお任せするきっかけは、無垢の木へのこだわりに興味を持ったから。お話を聞くと本物の家づくりに対する思いが熱く、本当の職人気質。先々の代まで住み継げる丈夫な家を建ててくれると確信しました」

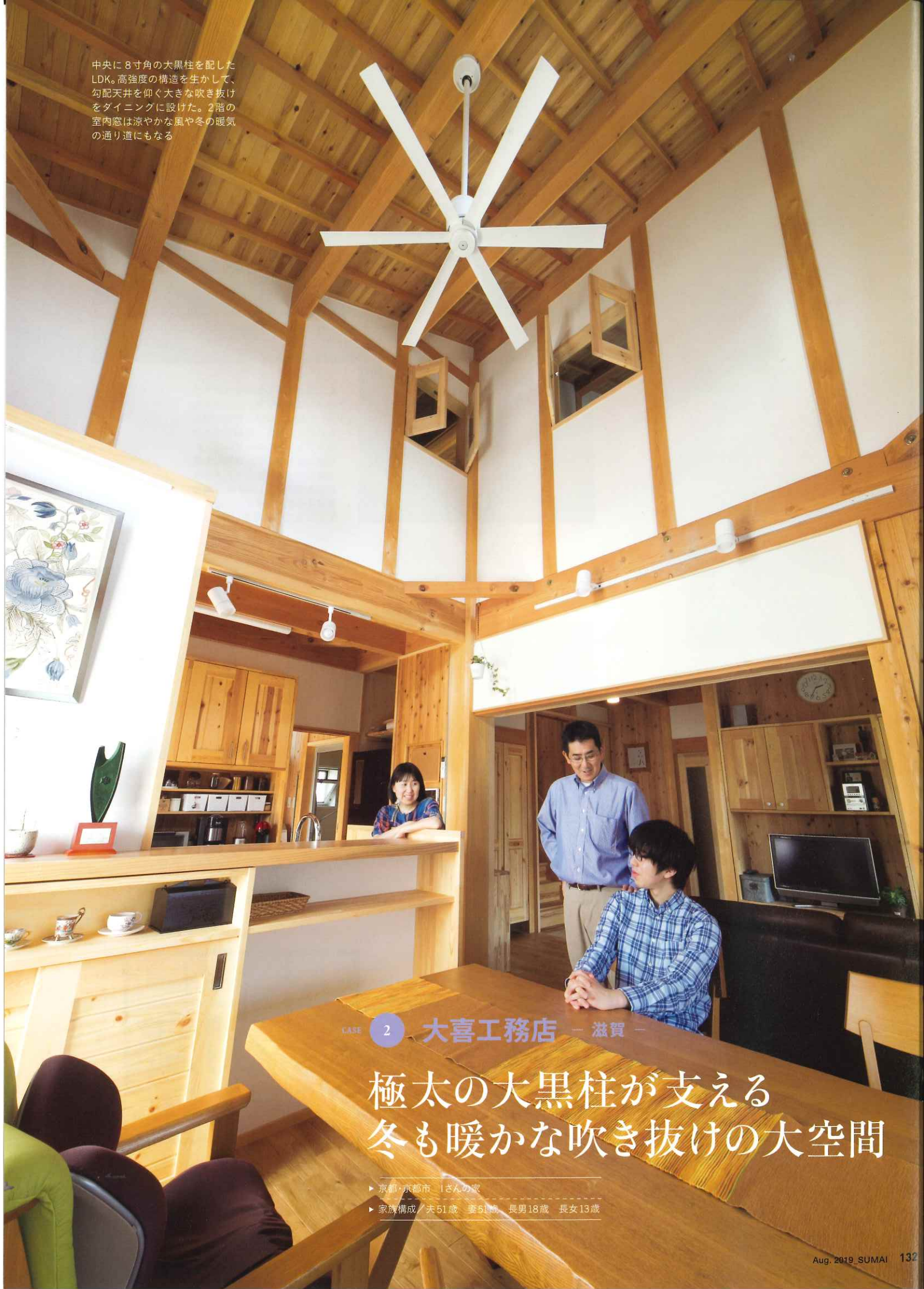
細やかな工夫を凝らした収納が充実



リビングは3枚の引き戸の開閉でダイニングとの一体化も分離も自在。階段横にはお掃除ロボットの出入り口を確保した物入れも設置した

そう話す夫の期待どおりの新居は、玄関を入ると現れる1尺角の大黒柱が印象的。LDKを貫く8寸角の大黒柱と併せて、力強い構造が実感できる。家族が集うダイニングは、吹き抜けや全開口サッシによる開放感が気持ちいい。家族それぞれの希望に応え、2階の個室は多様な床材を採用。寝室はメープル、長男の部屋はカバ、長女の部屋はポールドーパインと使い分け、ショールームのよう。「無垢の木のすがすがしい香りに包まれて落ち着きますね」と妻。開放的な間取りでありながら断熱性にも優れ、寒さが厳しい京都の冬も、1階の蓄熱暖房だけで家の隅々まで暖まるといふ。

中央に8寸角の大黒柱を配したLDK。高強度の構造を生かして、勾配天井を仰ぐ大きな吹き抜けをダイニングに設けた。2階の室内窓は涼やかな風や冬の暖気の通り道にもなる



CASE 2 大喜工務店 滋賀

# 極太の大黒柱が支える冬も暖かな吹き抜けの大空間

▶ 京都・京都市 1さんの家  
▶ 家族構成 / 夫51歳 妻51歳 長男18歳 長女13歳



大喜工務店

無添加骨太高断熱住宅で  
安心と快適を実現する

上質の檜材を銘木の産地から直接仕入れ、自社倉庫で長期自然乾燥させて大黒柱などに使用。3階建て基準のベタ基礎や2階でもグランドピアノが置ける仕様を標準とし、すべての家が基準の1.7倍以上の耐震性能を誇る。さらに柱・梁・床・天井などを無垢材で構成し、壁にオリジナルの珪藻土などを用いた“無添加骨太高断熱住宅”を推進。過剰だと思われるほどのこだわりを貫き、大手建築会社の幹部社員から家づくりを依頼されるほど信頼は厚い。



「檜は銘木の産地・東濃地方から直接仕入れ、自社で長期自然乾燥します」と社長の藤田喜代次さん

DATA

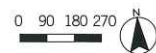
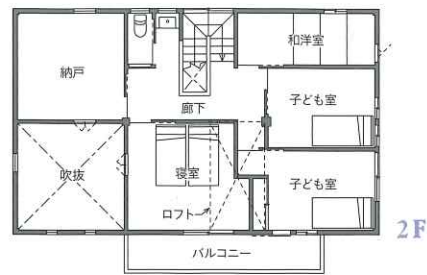
社名/大喜工務店  
代表/藤田喜代次  
住所/〒527-0087  
滋賀県東近江市平田町764  
☎0748-22-0028  
年間建築棟数/新築30棟  
設立/1952年1月  
建築エリア/滋賀県、京都府南部  
(他都府県は要相談)

PROFILE

本物にこだわった  
耐久性の強い家をつくらせています



藤田英喜  
住宅設計実績100軒以上の一級建築士。見た目のデザインだけでなく、生活スタイルに合わせて幅広い提案を行う。同じく一級建築士の社長とともに家づくりの全工程に携わる

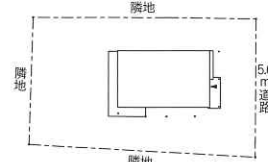


DATA  
敷地面積 / 520.16㎡ (157.62坪)  
延床面積 / 160.29㎡ (48.57坪)  
1階 / 86.77㎡ (26.29坪)  
2階 / 73.52㎡ (22.28坪)  
用途地域 / 準工業地域  
建ぺい率 / 200%  
容積率 / 60%  
構造 / 木造軸組工法  
本体工事費 / 2800万円  
竣工 / 2018年10月

INSTRUMENTS

厨房機器/ウッドワン  
衛生機器/パナソニック  
窓・サッシ/LIXIL

配置図



正面のニッチがアクセント!

- 7. ニッチの招き猫が迎えてくれる玄関ホール。節なし檜の床や横板張りの壁で上質な雰囲気。左の壁の裏に玄関収納も
- 8. ゆったりと設けたポーチは玄関横の丸窓で変化をつけた



L字型に巡らせたデッキ。ダイニングの掃き出し窓をフルオープンにすると、室内外がフラットにつながる

京都市の景観規制区域にあたるため、外壁やサッシから瓦まで落ち着いた色調で統一。2階の窓には格子を施し、京都らしい和の趣に仕上げている

OUTSIDE



サブウェイタイルが印象的!



- 1. ミラーキャビネットを含めて造作したオリジナル洗面台
- 2. 1階トイレは将来を見据えた車椅子対応仕様。手洗い台に信楽焼のボウルを組み合わせた



- 1階の和室には仏間を設け、吊り押し入れの下を地窓と板間で優美に演出。エアコンを取めるスペースも確保し、ルーバーで隠してすっきりとした空間に



- 3. シンプルな大壁に仕上げた寝室は、枕元のニッチで実用性にも配慮した。吹き抜けに面して室内窓を設置
- 4. 娯楽室や客間として使える2階の和洋室

SECOND FLOOR

CHECK POINT

先々の安心を支える  
1尺+8寸の2本柱

玄関に入ってまず目に留まるのが、和室の前に配置された1尺角の大黒柱。構造には一切妥協しないという大喜工務店の象徴だ。圧巻の太さもさることながら、良材の産地として名高い東濃地方から檜を直接仕入れ、長期自然乾燥でさらに強度を高めている点も見逃せない。LDKを貫く8寸角の大黒柱と併せて、一般的な長期優良住宅をはるかにしのぐ高性能を実現!



STAIRCASE

- 5. 「この空間を少しでも生かせれば」という妻の提案で、階段踊り場の壁にちょっとした本棚を造作。お気に入りの本やDVDを飾っている
- 6. 階段室とつながる2階ホールも天井が高くて開放的。一角に洗面台を設け、屋根裏にロフトを併設した